

2005年日本国際博覧会に係る環境影響評価追跡調査(予測・評価)報告書(その3)について 平成16年2月

1 今回の追跡調査の対象とした項目

平成14年6月にとりまとめた環境影響評価書(以下、「評価書」という。)の総合的な評価において、本博覧会事業による環境影響の程度は総合的に回避又は低減が図られているものと判断した。ただし、国際博覧会としての事業特性のために計画に不確定要素が伴う部分については、今後の計画熟度に対応して予測評価を含めた追跡調査を行うこととしている。

今回、評価書に記載された追跡調査計画に基づく項目(下表参照)のうち、計画熟度が高まった「**・ 自家用車駐車場整備に伴う環境影響調査**」について、予測・評価を行い、その結果等を「2005年日本国際博覧会に係る環境影響評価追跡調査(予測・評価)報告書(その3)」(以下、「本報告書」という。)としてとりまとめた。その概要は次頁以降のとおりである。

他の項目についても、今後の計画熟度に対応して順次、追跡調査(予測・評価)を実施する予定である。

計画熟度に対応して実施する追跡調査一覧

評価項目	・ 青少年公園西ターミナル 整備等に伴う環境影響調査	・ 八草ターミナル 環境影響調査 整備に伴う	・ 汚水送水管布設に伴う 環境影響調査	・ 会場間ゴンドラ設置に伴う 環境影響調査	・ 自家用車駐車場整備に伴う 環境影響調査	・ 催事・照明に伴う 環境影響調査	・ ヘリコプター発着に伴う 環境影響調査	・ 会期終了後の工事に伴う 環境影響調査
大気質								
騒音								
振動								
水質								
地形・地質								
土壌(表土)								
光害								
植物								
動物								
生態系								
景観								
触れ合い活動の場								
廃棄物等								
温室効果ガス等								

II 事業内容及び環境影響評価項目

- 1 自家用車駐車場整備事業に伴う環境影響調査

1. 事業内容等

博覧会来場者の自家用車は会場から概ね 20～40 分圏内に設けた 6 箇所の駐車場に誘導し、各駐車場から会場にシャトルバスを運行する。

(1) 自家用車駐車場の事業内容

表 1 - 1 に自家用車駐車場の事業内容を示す。名古屋市及び近郊地域の来場車については、最寄りの駐車場へ、また、広域的な来場車については、自動車専用道路 IC に近接する駐車場へ誘導することにより、博覧会会場周辺道路への交通集中を回避することが可能となる箇所に駐車場を選定している。また、各駐車場への誘導ルート（アクセス道路）及び駐車場から会場までのシャトルバスルートについては、交通量推計をもとに混雑度等のチェックを行い、設定している。図 1 - 1 にシャトルバスの主なルートを示す。

表 1 - 1 自家用車駐車場の事業内容

	自家用車駐車場名称	駐車場所在地	主に対象とする来場者	会場までのシャトルバスのルート
1	(仮称)尾張旭駐車場	尾張旭市北山町六反田	周辺地域(尾張旭市・春日井市・名古屋市・瀬戸市)	一般県道上半田川名古屋線・主要地方道瀬戸環状線・一般県道愛知青少年公園瀬戸線
2	(仮称)長久手インター駐車場	愛知郡長久手町大字長湫字丸根	名古屋市、駐車場周辺地域	主要地方道瀬戸大府東海線・主要地方道力石名古屋線
3	(仮称)ながくて南駐車場	愛知郡長久手町大字長湫字片平	名古屋市、愛知県知多地域、駐車場周辺地域	主要地方道瀬戸大府東海線・主要地方道力石名古屋線
4	(仮称)三好インター駐車場	西加茂郡三好町大字福谷字根浦	広域来場者(東名高速道路、伊勢湾岸道利用)、愛知県東部地域	東名高速道路・名古屋瀬戸道路・主要地方道力石名古屋線
5	(仮称)藤岡インター駐車場	西加茂郡藤岡町西中山	広域来場者(東海北陸自動車道・中央自動車道・東海環状自動車道利用)、愛知県西三河地域	猿投グリーンロード・主要地方道力石名古屋線
6	(仮称)名古屋空港駐車場	西春日井郡豊山町大字豊場	広域来場者(名神高速道路・東名阪自動車道利用)、愛知県北部地域	一般県道名古屋空港中央線・一般国道41号・名古屋高速道路・東名阪自動車道・東名高速道路・名古屋瀬戸道路・主要地方道力石名古屋線

以降、駐車場名称は“(仮称)”を省略した形(例:「尾張旭駐車場」等)とする。

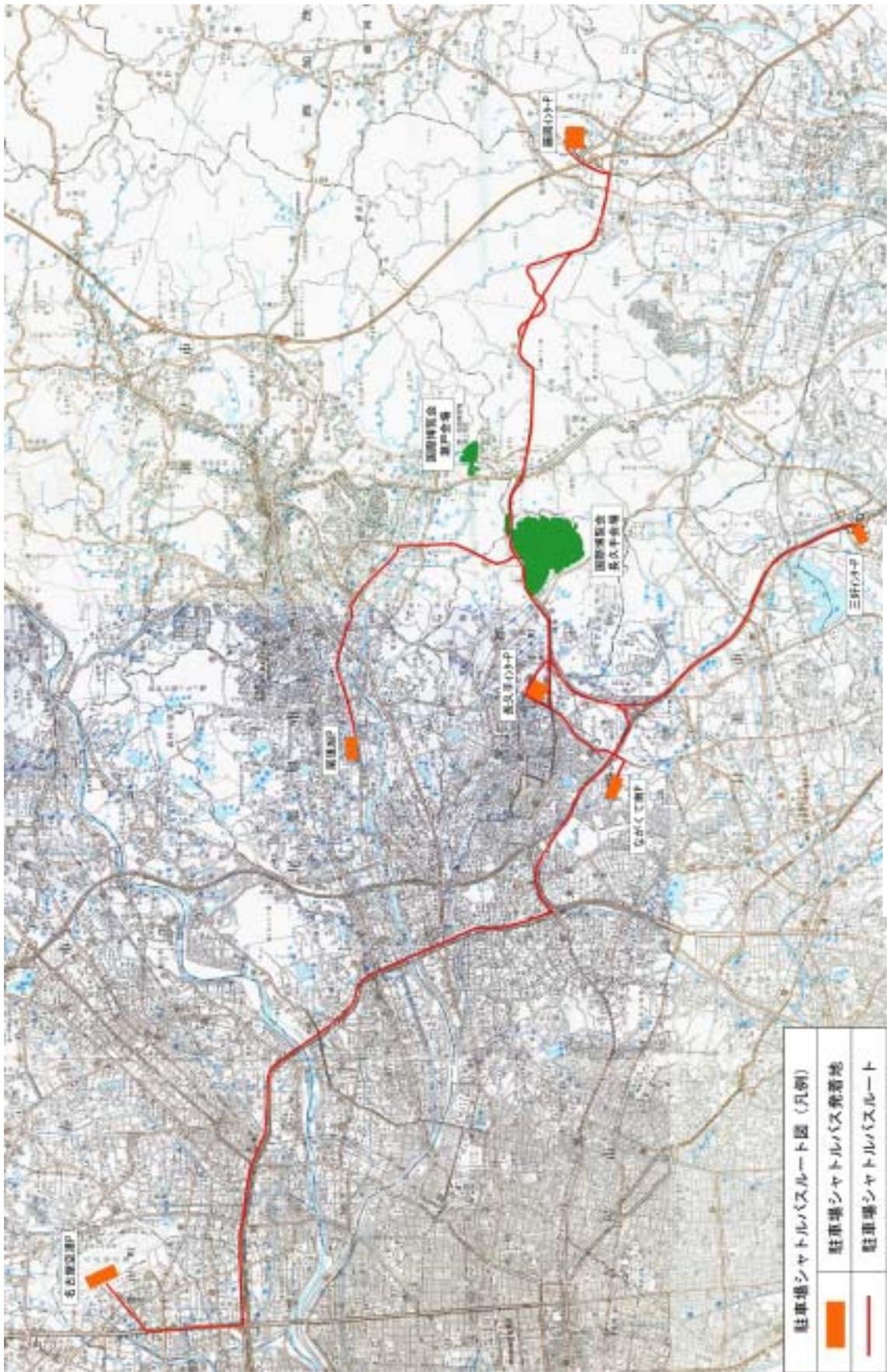


図 1 - 1 シャトルバスの主なルート

(2)環境 / 地域への配慮

- ・会場周辺道路への負荷を軽減するため、パーク＆ライド方式を採用する。全ての自家用車は会場から概ね 20～40 分圏内に計画する 6 カ所の駐車場に誘導し、各駐車場からシャトルバスを運行する。なお、シャトルバスについては、利用者の利便性を確保したうえで、台数削減を図るよう効率的な運用を検討する。
- ・駐車場からのシャトルバスルートはできる限り自動車専用道路等の利用を図る。
- ・周辺地域の交通の安全と円滑を確保するための交通安全施設の整備、ITS の活用等の対策を実施する。
- ・自家用車駐車場の位置選定に際しては、周辺への影響回避の手段として、基本的に密集市街地を避け、既改変地で、地域の幹線となる交通容量が大きい道路に接する地点を選定した。

(3)来場者への情報提供

- ・インターネット等を通じて自宅で博覧会や交通の情報を入手できるようにするほか、移動中の来場者に対しても、携帯電話、カーナビゲーションやラジオ放送等を用いて情報を即時的に提供する。
- ・駐車場への誘導や駐車場の空き情報等を ITS、ラジオ放送等を活用し即時的に提供するほか、来場者に分かりやすい誘導標識等を設置する。

2. 整備内容

自家用車駐車場の整備内容及び現状の土地利用状況を整理すると、表 2 - 1 のとおりである。自家用車駐車場の用地選定に当たっては、環境への影響を回避する手段として既改変地を選定した。各駐車場の現状の土地利用状況は、尾張旭駐車場は農地で営農中である。長久手インター駐車場は農地であるが、多くの部分は土地改良中である。ながくて南駐車場及び三好インター駐車場は土地区画整理事業区域内である。藤岡インター駐車場は西側が既造成地、東側が農地（営農されていない）となっている。名古屋空港駐車場は、現行の名古屋空港の国内線側駐車場（立体駐車場）等として利用されている。

表 2 - 1 自家用車駐車場の整備内容

	自家用車駐車場名称	整備台数	整備面積	現況土地利用状況
1	尾張旭駐車場	約 1,000 台	約 5.1 ha (うち一般車両用 3.7ha)	農地(主に田)
2	長久手インター駐車場	約 1,700 台	約 14 ha (うち一般車両用 6.2ha)	農地(多くの部分は土地改良中)
3	ながくて南駐車場	約 2,100 台	約 9.0 ha (うち一般車両用 7.6ha)	土地区画整理事業区域
4	三好インター駐車場	約 1,500 台	約 7.2 ha (うち一般車両用 4.7ha)	土地区画整理事業区域
5	藤岡インター駐車場	約 2,700 台	約 13 ha (うち一般車両用 8.8ha)	既造成地(私有地)、農地(営農されていない)等
6	名古屋空港駐車場	約 1,600 台	約 3.7 ha	名古屋空港国内線側既存駐車場の一部等

名古屋空港駐車場以外の駐車場整備工事は、敷き均し等のための土工（盛土・切土）及び舗装工が主で、料金収受設備、管理棟等の仮設工作物も設置する予定である。名古屋空港駐車場については、既存の国内線側駐車場の一部等を利用するため、案内標識等の仮設工作物設置が主な工事である。博览会終了後は、尾張旭駐車場、長久手インター駐車場、藤岡インター駐車場の計画地内に存在する農地については農地に復元する予定であり、ながくて南駐車場及び三好インター駐車場については、本来の区画整理のために必要な土工等を実施する予定である。名古屋空港駐車場については現在関係機関と協議中である。自家用車駐車場建設工事の工程表を表 2 - 2 に示す。

表 2 - 2 自家用車駐車場整備の工程表

	自家用車駐車場名称	土量	平成 16(2004)年度													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
1	尾張旭駐車場	切土：約 0.3 万 m ³ 盛土：約 1 万 m ³														
2	長久手インター駐車場	切土：約 5 万 m ³ 盛土：約 5 万 m ³														
3	ながくて南駐車場	切土：約 2 万 m ³ 盛土：約 2 万 m ³														
4	三好インター駐車場	切土：約 5 万 m ³ 盛土：約 2 万 m ³														
5	藤岡インター駐車場	切土：約 4 万 m ³ 盛土：約 4 万 m ³														
6	名古屋空港駐車場	土工なし														

3. 環境影響評価項目

(1) 環境影響要因の抽出

「2005年日本国際博覧会環境影響評価要領」の標準例を基本とし、更に評価書における会場本体の環境影響評価の結果等を踏まえ、重点的に検討すべきと考えられる項目を選定した。

工事による影響については、工事規模からして影響が少ない工事中の「コンクリート工事」、「建築物等の建設」、「仮設宿舍の設置」、「仮設物等の解体」、「有害物質の使用」、「河川水等の取水」については影響要因から除外した。また、新たに工事中の「重機の稼働」を追加することにより、重機の稼働に伴う騒音や大気汚染物質の発生による影響と各種工事におけるその他の行為による影響とを明確に区分した。それにより、標準例により示された「基礎工(杭打工)」、「舗装工事」による影響は全て「重機の稼働」に読み替えられたことから、影響要因から除外した。この他、工事(会期終了後)による影響については、計画熟度の高まりに合わせて今後追跡調査を行う事とするため除外した。

存在による影響については、「樹木伐採後の状態」は、各駐車場の現況から判断して、樹林地がなく草地が主体であることから、草本類の刈り取りが主体となると考えられるため、「樹木等伐採後の状態」とした。「変更後の地形」と「樹木等伐採後の状態」については、地形の変更と樹木等の伐採(草本類の刈り取り)の影響が別々に生じることが無いと考えられることから、これら二つの影響については、複合した一つの影響として環境影響の評価を行うこととする。

また「工作物等の出現」に関しては、これが仮設であることから、「仮設工作物等の出現」とした。

「変更後の河川・池沼」については河川・池沼の変更を行わないことから、影響要因から除外した。

供用による影響については、「人の入り込み利用」、「エネルギーの使用(固定発生源)」、「水使用」、「有害物質の使用」、「農薬・肥料の使用」、「食料・物品の消費」、「場内放送等の実施」、「ヘリコプターの発着」、「地下水の採取」、「フロン・代替フロンの使用」の環境要因にかかる行為そのものを行わないか、規模が小さいことから、影響要因から除外した。なお、「自動車の走行 - 会場内及び周辺」は「自動車の走行 - 駐車場内及び周辺」に変更し、「自動車交通の発生 - アクセス」も併せることとした。

(2)環境影響評価項目の選定

環境影響評価項目は、評価書における会場本体の環境影響評価の結果等を踏まえ、重点的に検討すべきと考えられる項目を選定した。表 3 - 1 に選定した項目を示す。

なお、今回選定しなかった項目についても、評価書に記載した「回避又は低減の方針」を徹底することにより、本整備工事等による環境影響の回避又は低減に努めていくこととする。

表 3 - 1 自家用車駐車場整備に伴う環境要素 - 影響要因マトリクス

環境要素 - 影響要因マトリクス

環境要素の区分			影響要因の区分		工事による影響				存在による影響		供用による影響			
			細区分	細区分	資材等の運搬	資材等の集積	重機の稼働	土工（重機の稼働を除く） 切土・盛土・発破・掘削等	変更後の地形・樹木等伐採後の状態	仮設工作物等の出現	自動車の走行 駐車場内及び周辺	排水の発生	夜間の照明等	
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	NO2											
			SPM											
			粉じん											
	騒音	建設工事騒音												
		自動車交通騒音 (LAeq)												
	振動	建設工事振動												
		自動車交通振動 (L10)												
水環境	水質	SS												
		BOD												
その他		光害												
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	植物		注目すべき植物種(植物群落)											
	動物		注目すべき動物種											
人と自然との豊かな触れ合い	景観		計画地周辺からの景観											
環境への負荷	廃棄物等		廃棄物											

<影響要因の区分の考え方> 工事による影響：影響が工事中のみに限定される一過性の影響。工事による影響であっても永続的な影響は存在による影響に含める。

存在による影響：自然の改変、工作物の存在等物理的な整備によって生じる永続的影響。

供用による影響：整備後に繰り広げられる人間活動によって生じる影響。

III 追跡調査結果の概要

- 1 環境保全のための措置

「本報告書」において、予測・評価の前提とした環境保全措置等は、以下に示すとおりである。なお、今回選定しなかった項目についても、評価書に記載した「回避又は低減の方針」を徹底することにより、本整備工事等による環境影響の回避又は低減に努めていくこととしており、ここにあわせて示した。

1. 計画段階における環境の保全のための措置

環境保全措置		関係環境要素
自家用車駐車場の立地選定に関する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・会場周辺道路への負荷を軽減するため、パーク＆ライド方式の採用により、会場から離れた位置に自家用車駐車場を整備することとした。 ・各駐車場は各方面別のアクセスに対応できるよう、会場から概ね 20～40 分圏内に分散して配置した。 ・駐車場周辺への影響を回避するため、各駐車場は基本的に密集市街地を避け、地域の幹線となる交通容量が大きい道路（2車線以上の既設または計画道路）に隣接する地点を選定した。 ・新たな地形改変等を抑制し、自然環境への影響をできる限り回避するため、各駐車場は既舗装地、採石跡地、土地区画整理中の用地、耕作地など、植生自然度の比較的低い区域を選定した。 	大気質、騒音、振動、光害、植物、動物、生態系、景観、廃棄物等
農地の復元に関する措置	<p>（尾張旭駐車場）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画地内に存在する農地については、再び農耕地として速やかに利用できるよう、現地形の上にシートを敷設して、その上に盛土を行い、地形の平準化と舗装を行った後に供用し、博覧会終了後にシート及び構造物を撤去して農地の復元を図る。 <p>（長久手インター駐車場、藤岡インター駐車場）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画地内に存在する農地については、再び農耕地として速やかに利用できるよう、現地形や造成面の上にシートを敷設して、地形の平準化と舗装を行った後に供用し、博覧会終了後にシート及び構造物を撤去して農地の復元を図る。 	植物、動物、景観
自家用車駐車場の運営に関する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車駐車場から運行されるシャトルバスは、できる限り自動車専用道路等の利用を図る。 	大気質、騒音、振動
工事工程に関する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として夜間工事を実施しない。 	騒音、振動、光害、温室効果ガス等

2. 工事中における環境の保全のための措置

環境保全措置		関係環境要素
工事機械・工事車両に関する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・工事規模を最小化しよう計画する。 ・工事の平準化を行う。 ・工事規模に合わせ、工事機械を効率的に使用する。 ・資材等の搬出入時期・ルートを分散化する。 ・工事機械の点検・整備を行い、性能を維持する。 ・散水の実施等、粉じんの飛散防止に努める。 ・低騒音・低振動工法を採用する。 ・低騒音・低振動工事機械の導入を図る。 	大気質、騒音、振動、植物、動物、触れ合い活動の場、温室効果ガス等
有害物質の使用に関する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・有害物質を極力使用しない工法等を選択する。 ・やむを得ず有害物質を使用する場合には、管理を徹底する。 	大気質、水質、底質、地下水、土壤汚染、植物、動物
排水処理・土砂流出防止に関する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートミキサー車のドラム洗浄水は場外に搬出し、適切に処理する。 ・工所用沈砂池を設置する。 ・土工事においては、速やかに転圧を行う。 ・造成面の早期舗装を実施する。 ・造成された法面は早期緑化を図る。 ・降雨時における濁水の管理目標値を設定し、水質を管理する。 	水質、植物、動物、生態系、景観
工事関係者の行動に関する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・工事関係者による工事区域外(草地や湿地等の保全した区域を含む)への不用意な立ち入りを制限する。 	植物、動物
建設廃棄物等の処理に関する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・建設廃棄物や建設発生土の発生抑制を図る。 ・リユース、リサイクルを推進する。 ・建設発生土の場内での再利用を図る。 ・建設廃棄物の適正な処理を図る。 	廃棄物等
建設資材選定に関する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮型資材を利用する。 	温室効果ガス等

3. 存在影響に対する環境の保全のための措置

環境保全措置		関係環境要素
直接改変域の位置及び範囲の設定に関する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・注目すべき植物種の生育地及び注目すべき植物群落の分布域に対する直接改変を回避又は低減する。 ・土地改変及び工事機械・工事車両の稼働に伴う周辺への土砂流出等を回避する。 	植物
	(藤岡インター駐車場) <ul style="list-style-type: none"> ・ハッチョウトンボの生息地(湿地)に対する直接改変を回避するとともに、保全する。 	動物
生息個体の損傷の回避・低減に関する措置	(尾張旭駐車場) <ul style="list-style-type: none"> ・工事着手前及び工事中において、計画地内で確認されたカエル類(ダルマガエル以外も含む)は捕獲するとともに、計画地周辺の生息環境(水路等)へ移入する。 ・捕獲にあたっては、残存個体を可能な限り少なくするため、多人数によって一斉に行うこととする。 (長久手インター駐車場) <ul style="list-style-type: none"> ・工事によるカヤネズミ及びツマグロキョウの生息個体の直接的損傷を回避・低減するため、カヤネズミの営巢 	動物

生息個体の損傷の回避・低減に関する措置	前及びツマグロキチョウの産卵前に計画地内の草本類を刈り取ることとする。	動物
生息環境の保全・創出に関する措置	<p>(尾張旭駐車場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移入先の水路のコンクリート面は、カエル類が登りやすいよう網等を設置し、移入先の生息環境の改善を図る。 ・駐車場の存在中は、ダルマガエルの生息環境となるよう、駐車場内の調整池を緩傾斜構造とし、浅瀬を整備する。 <p>(長久手インター駐車場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カヤネズミの生息環境となるよう、駐車場計画地内(残置林の隣接地)の一部に、計画地内のうちススキが優占する土壌を客土し、「カヤ場」としての草地を創出し、駐車場の存在中は維持する。 ・ツマグロキチョウの生息環境となるよう、駐車場内の2ヶ所の調整池の法面を草地化するとともに、同種の幼虫の食草であるカワラケツメイ(マメ科植物)の生育環境を播種等により整備するとともに、駐車場の存在中は維持する。 ・カヤネズミ及びツマグロキチョウの移動路となるよう、駐車場内の盛土部の法面を可能な限り草地化するとともに、駐車場の存在中は維持する。 <p>(藤岡インター駐車場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハッチョウトンボの生息が確認された湿地の環境変化を防ぐためフェンスを設置し、浅水域を確保するための排水路を設置するとともに、湿地及びその周辺の草地を整備する。 ・保全湿地においては、随時環境の状況(水況等)を確認するとともに、ゴミ等が見られた場合は取り除くなど、生息環境の維持に努める。 	動物
仮設工作物の規模・デザインの設定に関する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設工作物は必要最小限の規模(高さ)とする。 ・仮設建築物及び接道部の進入防止柵等の色彩については、周辺と調和しやすい色系を採用する。 	景観
緑化等に関する措置	<p>(尾張旭駐車場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画地内の既存高木を可能な限り残置する。 ・調整池に敷設するシート上を覆土し、草地化する。 ・駐車場内の法面を草地化する。 <p>(長久手インター駐車場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場内に灌木植栽帯を設置する。 ・調整池に敷設するシート上を覆土し、草地化する。 ・駐車場内の法面を草地化する。 	景観

4 . 供用時における環境の保全のための措置

	環境保全措置	関係環境要素
駐車場の運用に関する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット等を通じて自宅で博覧会や交通の情報を入手できるようにする。 ・ 来場者に対して駐車場案内システム、携帯電話、カーナビゲーションやラジオ放送等を用いて駐車場への誘導や空き情報を提供するほか、来場者にわかりやすい誘導標識等を設置し、適切な案内を行う。 ・ 駐車場入り口での渋滞を回避するため、適切な料金收受方式等を採用する。 	大気質、騒音、振動
駐車場内の走行に関する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ シャトルバス及び駐車場利用車のアイドリングストップを励行する。 	大気質、騒音、振動、動物
夜間の照明に関する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて、配光を制御するとともに、遮光フェンスの設置により周辺域への光漏れを防止する。 ・ 必要に応じて、昆虫の誘因特性の小さい光源（ナトリウムランプ等）を使用する。 	光害、植物、動物

- 2 環境影響の総合的な評価

今回の「計画熟度に対応して実施する追跡調査（予測・評価）」における予測評価結果によれば、工事中の影響については、会場本体工事を合わせても、- 1の環境保全措置を講ずることにより、環境への影響は回避又は低減が図られるものと評価した。また、バックグラウンド濃度に伴うものなど一部を除いて、国等の環境保全施策との整合性についても概ね図られていた。

存在影響については、計画段階において基本的に既改変地およびそれに準じる地点を駐車場計画地として選定したこと、及び駐車場の配置にあたっては小規模化、分散化を図った事によって環境への影響は計画段階において相当程度回避することができた。加えて、計画地における直接改変域の一部縮小、注目すべき動物種の生息個体の直接的損傷の回避・低減、生息環境の保全・創出、待合室等仮設工作物の規模や色彩、緑化等に関する各段階での保全措置の採用により、さらに低減が図れるものと評価した。

供用時においては、駐車場のスムーズな運用が可能になるように保全措置の徹底を行うこと、夜間の照明の設置について、周辺に対する光漏れの防止や、照明時間の短縮、昆虫の誘因特性の小さい光源の使用などの配慮の徹底を行うことにより、環境への影響は回避又は低減が図られるものと評価した。

なお、今回選定しなかった項目についても、評価書に記載した「回避又は低減の方針」を徹底することにより、本整備工事等による環境影響の回避又は低減に努めていくこととしている。

以上から、全環境要素を含めて環境影響の程度は総合的に回避又は低減ができるものと判断した。

- 3 追跡調査（環境モニタリング）計画

- 1で、今回の「計画熟度に対応して実施する追跡調査（予測・評価）」において予測・評価の前提とした環境保全措置をまとめて整理し示した。また、- 2において、この環境保全措置に基づき予測、評価した結果、環境影響の程度は総合的に回避又は低減ができるものと判断した。

これらの今回の追跡調査（予測・評価）の実施に伴い、評価書に示した追跡調査（環境モニタリング）計画の内容に関し、追加すべき項目があるか否かについて検討した。

その結果、今回の追跡調査（予測・評価）の対象とした自家用車駐車場整備の事業内容及び予測・評価した結果から判断して、評価書に示した追跡調査（環境モニタリング）計画の内容に、動物（注目すべき動物種）を追加することとした。

なお、会期終了後の調査の継続に関しては、専門家の助言・指導を得ながら、関係機関に対し協力を要請するとともに、調整を図っていくこととする。

IV 追跡調査結果

1. 大気質

1.1 工事中

ア 環境影響の回避又は低減に係る評価

(ア) 工事機械の影響

回避又は低減のための方針に掲げた環境保全対策の他に、会場本体工事と同様、排出ガス対策型工事機械の活用促進を含めて引き続き検討し、積極的に取り入れていくことにより、環境への影響は低減が図られるものと判断した。

(イ) 工事用車両の走行

回避又は低減のための方針に掲げた環境保全対策の他に会場本体工事と同様、工事用車両の最新排ガス規制車の活用促進を含めて引き続き検討する他、状況に応じて工事関係者の時差通勤による集中回避も引き続き検討し、積極的に取り入れていくことにより、環境への影響は低減が図られるものと判断した。

(ウ) 工事による粉じんの影響

回避又は低減のための方針に掲げた環境保全対策の他に会場本体工事と同様、工事機械の稼働及び工事用車両の走行に伴い発生する粉じん量を可能な限り最小限にとどめるため、できる限り工事の平準化を図り、工事機械の工事規模に合わせ、適正に配置するものとする。

さらに、工事中に発生する粉じん対策として、以下の対策を可能な限りとるものとする。

- ・工事用車両の荷台への防塵シートの敷設
- ・造成法面の早期緑化
- ・現場内での走行速度の厳守等の保全対策

粉じんの発生及び飛散による環境影響は、発生及び飛散の気象条件が年間のうち限られた季節に出現し発生率も低いことに加え、上記のような対策をとることから回避又は低減が図られるものと判断した。

イ 国等の環境保全施策との整合性

(ア) 工事機械の稼働

< 二酸化窒素 >

工事機械の稼働による寄与濃度が最大となる地点における予測結果は以下のとおりであり、環境基準値及び1時間暴露の指針値を下回っている。

(単位：ppm)

駐車場	項目	予測値	バックラウンド濃度	環境基準値 又は指針値	環境基準等の適合 (:適合、x :不適合)
尾張旭駐車場	日平均値の寄与濃度(NOx)	0.0061	0.032	-	-
	日平均値の年間98%値(NO2)	0.045	-	0.04~0.06 又はそれ以下	
	1時間値の寄与濃度(NOx)	0.2039	0.197	-	-
	1時間値の環境濃度(NO2)	0.067	-	0.1~0.2	
長久手インター駐車場	日平均値の寄与濃度(NOx)	0.0079	0.032	-	-
	日平均値の年間98%値(NO2)	0.044	-	0.04~0.06 又はそれ以下	
	1時間値の寄与濃度(NOx)	0.2356	0.249	-	-
	1時間値の環境濃度(NO2)	0.073	-	0.1~0.2	
ながくて南駐車場	日平均値の寄与濃度(NOx)	0.0093	0.048	-	-
	日平均値の年間98%値(NO2)	0.057	-	0.04~0.06 又はそれ以下	
	1時間値の寄与濃度(NOx)	0.2755	0.260	-	-
	1時間値の環境濃度(NO2)	0.076	-	0.1~0.2	
三好インター駐車場	日平均値の寄与濃度(NOx)	0.0070	0.048	-	-
	日平均値の年間98%値(NO2)	0.056	-	0.04~0.06 又はそれ以下	
	1時間値の寄与濃度(NOx)	0.2534	0.260	-	-
	1時間値の環境濃度(NO2)	0.075	-	0.1~0.2	
藤岡インター駐車場	日平均値の寄与濃度(NOx)	0.0059	0.015	-	-
	日平均値の年間98%値(NO2)	0.031	-	0.04~0.06 又はそれ以下	
	1時間値の寄与濃度(NOx)	0.2671	0.137	-	-
	1時間値の環境濃度(NO2)	0.067	-	0.1~0.2	

< 浮遊粒子状物質 >

工事機械の稼働による寄与濃度が最大となる地点における予測結果は以下のとおりであり、ほとんどの駐車場で1時間値が環境基準値を上回っている。これは、本事業による寄与は低いと予測されるものの、バックグラウンド濃度が環境基準値と同程度か又は既に超えているためである。

(単位：mg/m³)

駐車場	項目	予測値	バックグラウンド濃度	環境基準値	環境基準の適合 (: 適合、× : 不適合)
尾張旭駐車場	日平均値の寄与濃度	0.0003	0.035	-	-
	日平均値の2%除外値	0.086	-	0.10	
	1時間値の寄与濃度	0.0068	0.266	-	-
	1時間値の環境濃度	0.273	-	0.20	×
長久手インター駐車場	日平均値の寄与濃度	0.0003	0.034	-	-
	日平均値の2%除外値	0.084	-	0.10	
	1時間値の寄与濃度	0.0077	0.199	-	-
	1時間値の環境濃度	0.207	-	0.20	×
ながくて南駐車場	日平均値の寄与濃度	0.0004	0.036	-	-
	日平均値の2%除外値	0.090	-	0.10	
	1時間値の寄与濃度	0.0093	0.200	-	-
	1時間値の環境濃度	0.209	-	0.20	×
三好インター駐車場	日平均値の寄与濃度	0.0003	0.036	-	-
	日平均値の2%除外値	0.090	-	0.10	
	1時間値の寄与濃度	0.0084	0.200	-	-
	1時間値の環境濃度	0.208	-	0.20	×
藤岡インター駐車場	日平均値の寄与濃度	0.0002	0.026	-	-
	日平均値の2%除外値	0.062	-	0.10	
	1時間値の寄与濃度	0.0090	0.163	-	-
	1時間値の環境濃度	0.172	-	0.20	

(1) 工事用車両の走行

工事用車両の走行の予測評価のうち、長久手インター駐車場の工事用車両走行ルートは、会場(瀬戸会場及び長久手会場)本体工事及びターミナル等の工事に係る工事用車両の走行ルートと重なるため、これらの工事用車両の台数を重合したものをを用いた。

< 二酸化窒素 >

工事用車両の走行による予測結果は以下のとおりであり、環境基準値及び1時間暴露の指針値を下回っている。

(単位：ppm)

駐車場	項目	予測値	バックラウト濃度	環境基準値 又は指針値	環境基準等の適合 (○:適合、×:不適合)
尾張旭駐車場 断面： 尾張旭市稲葉町	日平均値の 寄与濃度(NOx)	0.0125 (0.0002)	0.032	-	-
	日平均値の年間 98%値(NO2)	0.047 (0.000)	-	0.04~0.06 又はそれ以下	
	1時間値の 寄与濃度(NOx)	0.0412 (0.0023)	0.242	-	-
	1時間値の 環境濃度(NO2)	0.057 (0.000)	-	0.1~0.2	
長久手インター駐車場 断面： 長久手町長湫(横道)	日平均値の 寄与濃度(NOx)	0.0168 (0.0009)	0.032	-	-
	日平均値の年間 98%値(NO2)	0.047 (0.000)	-	0.04~0.06 又はそれ以下	
	1時間値の 寄与濃度(NOx)	0.0507 (0.0144)	0.253	-	-
	1時間値の 環境濃度(NO2)	0.059 (0.001)	-	0.1~0.2	
ながくて南駐車場 断面： 日進市岩崎町竹の山	日平均値の 寄与濃度(NOx)	0.0016 (0.0003)	0.048	-	-
	日平均値の年間 98%値(NO2)	0.055 (0.000)	-	0.04~0.06 又はそれ以下	
	1時間値の 寄与濃度(NOx)	0.0114 (0.0048)	0.364	-	-
	1時間値の 環境濃度(NO2)	0.065 (0.000)	-	0.1~0.2	
三好インター駐車場 断面： 三好町福谷(根浦)	日平均値の 寄与濃度(NOx)	0.0130 (0.0003)	0.038	-	-
	日平均値の年間 98%値(NO2)	0.051 (0.000)	-	0.04~0.06 又はそれ以下	
	1時間値の 寄与濃度(NOx)	0.0221 (0.0020)	0.316	-	-
	1時間値の 環境濃度(NO2)	0.062 (0.000)	-	0.1~0.2	
藤岡インター駐車場 断面： 藤岡町西中山	日平均値の 寄与濃度(NOx)	0.0016 (0.0000)	0.015	-	-
	日平均値の年間 98%値(NO2)	0.028 (0.000)	-	0.04~0.06 又はそれ以下	
	1時間値の 寄与濃度(NOx)	0.0139 (0.0000)	0.137	-	-
	1時間値の 環境濃度(NO2)	0.043 (0.000)	-	0.1~0.2	
藤岡インター駐車場 断面： 豊田市猿投町神郷	日平均値の 寄与濃度(NOx)	0.0052 (0.0004)	0.015	-	-
	日平均値の年間 98%値(NO2)	0.031 (0.000)	-	0.04~0.06 又はそれ以下	
	1時間値の 寄与濃度(NOx)	0.0251 (0.0067)	0.137	-	-
	1時間値の 環境濃度(NO2)	0.044 (0.001)	-	0.1~0.2	

*：予測値の()内の数値は、車両による寄与濃度のうち、一般車両分を除いた駐車場工事車両の走行による寄与濃度を示す。

< 浮遊粒子状物質 >

工事用車両の走行による予測結果は以下のとおりであり、藤岡インター駐車場の断面を除きほとんどの断面で環境基準値を上回っている。これは、本事業による寄与は低いと予測されるものの、バックグラウンド濃度が環境基準値と同程度か又は既に超えているためである。

(単位：mg/m³)

駐車場	項目	予測値	バックグラウンド濃度	環境基準値	環境基準の適合 (:適合、×:不適合)
尾張旭駐車場 断面： 尾張旭市稲葉町	日平均値の 寄与濃度	0.0078 (0.0002)	0.035	-	-
	日平均値の 2%除外値	0.104 (0.000)	-	0.10	×
	1時間値の 寄与濃度	0.0291 (0.0025)	0.266	-	-
	1時間値の 環境濃度	0.295 (0.002)	-	0.20	×
長久手インター駐車場 断面： 長久手町長湫(横道)	日平均値の 寄与濃度	0.0105 (0.0009)	0.034	-	-
	日平均値の 2%除外値	0.107 (0.002)	-	0.10	×
	1時間値の 寄与濃度	0.0372 (0.0145)	0.199	-	-
	1時間値の 環境濃度	0.236 (0.015)	-	0.20	×
ながくて南駐車場 断面： 日進市岩崎町竹の山	日平均値の 寄与濃度	0.0011 (0.0003)	0.036	-	-
	日平均値の 2%除外値	0.091 (0.001)	-	0.10	-
	1時間値の 寄与濃度	0.0093 (0.0051)	0.200	-	-
	1時間値の 環境濃度	0.209 (0.005)	-	0.20	×
三好インター駐車場 断面： 三好町福谷(根浦)	日平均値の 寄与濃度	0.0088 (0.0003)	0.036	-	-
	日平均値の 2%除外値	0.108 (0.001)	-	0.10	×
	1時間値の 寄与濃度	0.0167 (0.0022)	0.197	-	-
	1時間値の 環境濃度	0.214 (0.002)	-	0.20	×
藤岡インター駐車場 断面： 藤岡町西中山	日平均値の 寄与濃度	0.0011 (0.0000)	0.026	-	-
	日平均値の 2%除外値	0.064 (0.000)	-	0.10	-
	1時間値の 寄与濃度	0.0103 (0.0000)	0.163	-	-
	1時間値の 環境濃度	0.173 (0.000)	-	0.20	-
藤岡インター駐車場 断面： 豊田市猿投町神郷	日平均値の 寄与濃度	0.0035 (0.0004)	0.026	-	-
	日平均値の 2%除外値	0.070 (0.001)	-	0.10	-
	1時間値の 寄与濃度	0.0205 (0.0072)	0.163	-	-
	1時間値の 環境濃度	0.183 (0.007)	-	0.20	-

* : 予測値の()内の数値は、車両による寄与濃度のうち、一般車両分を除いた駐車場工事車両の走行による寄与濃度を示す。

1.2 供用時

ア 環境影響の回避又は低減に係る評価

(ア) 駐車場内における車両の走行

駐車場を利用する交通のうち、駐車場内においてはシャトルバスや自家用車のアイドリングストップの啓発を行うこと、駐車場の充足率が低い日には既存住宅の近くには車両を入れないことなどにより、環境への影響は低減が図られるものと判断した。

(イ) 駐車場利用車両の走行

駐車場利用車両の走行については、駐車場へ入る車両による一般道の渋滞が発生しないよう速やかに駐車場内に誘導することなどにより、環境への影響は低減が図られるものと判断した。

イ 国等の環境保全施策との整合性

(ア) 駐車場内における車両の走行

< 二酸化窒素 >

駐車場内における車両の走行による寄与濃度が最大となる地点における予測結果は以下のとおりであり、1時間暴露の指針値を下回っている。

(単位：ppm)

駐車場	項目	予測値	バックラウト* 濃度	指針値	指針の適合 (○：適合、×：不適合)
尾張旭駐車場	1時間値の 寄与濃度(NOx)	D：0.0108 G：0.0131	D：0.126 G：0.120	-	-
	1時間値の 環境濃度(NO2)	D：0.041 G：0.040	-	0.1～0.2	D： G：
長久手インター 駐車場	1時間値の 寄与濃度(NOx)	D：0.0194 G：0.0323	D：0.123 G：0.074	-	-
	1時間値の 環境濃度(NO2)	D：0.041 G：0.036	-	0.1～0.2	D： G：
ながくて南 駐車場	1時間値の 寄与濃度(NOx)	D：0.0247 G：0.0453	D：0.201 G：0.303	-	-
	1時間値の 環境濃度(NO2)	D：0.051 G：0.062	-	0.1～0.2	D： G：
三好インター 駐車場	1時間値の 寄与濃度(NOx)	D：0.0139 G：0.0179	D：0.201 G：0.303	-	-
	1時間値の 環境濃度(NO2)	D：0.050 G：0.060	-	0.1～0.2	D： G：
藤岡インター 駐車場	1時間値の 寄与濃度(NOx)	D：0.0340 G：0.0998	D：0.056 G：0.055	-	-
	1時間値の 環境濃度(NO2)	D：0.034 G：0.043	-	0.1～0.2	D： G：

*：「D」は大気安定度D、「G」は大気安定度Gの条件でそれぞれ予測を行ったものである。

< 浮遊粒子状物質 >

駐車場内における車両の走行による寄与濃度が最大となる地点における予測結果は以下のとおりであり、ほとんどの駐車場で1時間値が環境基準値を上回っている。これは、本事業による寄与は低いと予測されるものの、バックグラウンド濃度が環境基準値と同程度か又は既に超えているためである。

(単位：mg/m³)

駐車場	項目	予測値	バックグラウンド濃度	環境基準値	環境基準の適合 (:適合、×:不適合)
尾張旭駐車場	1時間値の寄与濃度	D : 0.0085 G : 0.0103	D : 0.266 G : 0.150	-	-
	1時間値の環境濃度	D : 0.275 G : 0.160	-	0.20	D : × G :
長久手インター駐車場	1時間値の寄与濃度	D : 0.0153 G : 0.0250	D : 0.199 G : 0.235	-	-
	1時間値の環境濃度	D : 0.214 G : 0.260	-	0.20	D : × G : ×
ながくて南駐車場	1時間値の寄与濃度	D : 0.0185 G : 0.0319	D : 0.200 G : 0.160	-	-
	1時間値の環境濃度	D : 0.219 G : 0.192	-	0.20	D : × G :
三好インター駐車場	1時間値の寄与濃度	D : 0.0114 G : 0.0145	D : 0.200 G : 0.160	-	-
	1時間値の環境濃度	D : 0.211 G : 0.175	-	0.20	D : × G :
藤岡インター駐車場	1時間値の寄与濃度	D : 0.0252 G : 0.0723	D : 0.163 G : 0.125	-	-
	1時間値の環境濃度	D : 0.188 G : 0.197	-	0.20	D : G :

* : 「D」は大気安定度D、「G」は大気安定度Gの条件でそれぞれ予測を行ったものである。

(1) 駐車場利用車両の走行

< 二酸化窒素 >

駐車場利用車両の走行による予測結果は以下のとおりであり、1時間暴露の指針値を下回っている。

(単位：ppm)

駐車場	項目	予測値	バックグラウンド濃度	指針値	指針の適合 (○：適合、×：不適合)
尾張旭駐車場 断面： 尾張旭市稲葉町	1時間値の 寄与濃度(NOx)	D : 0.0395(0.0028) G : 0.0325(0.0069)	D : 0.126 G : 0.120	-	-
	1時間値の 環境濃度(NO2)	D : 0.044(0.000) G : 0.043(0.001)	-	0.1~0.2	D : G :
尾張旭駐車場 断面： 尾張旭市稲葉町	1時間値の 寄与濃度(NOx)	D : 0.0347(0.0051) G : 0.0383(0.0127)	D : 0.126 G : 0.120	-	-
	1時間値の 環境濃度(NO2)	D : 0.044(0.000) G : 0.043(0.002)	-	0.1~0.2	D : G :
長久手インター駐車場 断面： 長久手町長湫 (横道)	1時間値の 寄与濃度(NOx)	D : 0.0362(0.0048) G : 0.0511(0.0107)	D : 0.123 G : 0.074	-	-
	1時間値の 環境濃度(NO2)	D : 0.044(0.000) G : 0.039(0.002)	-	0.1~0.2	D : G :
長久手インター駐車場 断面： 長久手町岩作 (早稲田)	1時間値の 寄与濃度(NOx)	D : 0.0377(0.0036) G : 0.0368(0.0057)	D : 0.123 G : 0.074	-	-
	1時間値の 環境濃度(NO2)	D : 0.044(0.000) G : 0.037(0.001)	-	0.1~0.2	D : G :
ながくて南駐車場 断面： 日進市岩崎町 竹の山	1時間値の 寄与濃度(NOx)	D : 0.0299(0.0237) G : 0.0572(0.0543)	D : 0.201 G : 0.303	-	-
	1時間値の 環境濃度(NO2)	D : 0.052(0.003) G : 0.063(0.005)	-	0.1~0.2	D : G :
三好インター駐車場 断面： 三好町福谷(根浦)	1時間値の 寄与濃度(NOx)	D : 0.0208(0.0011) G : 0.0168(0.0031)	D : 0.123 G : 0.126	-	-
	1時間値の 環境濃度(NO2)	D : 0.042(0.000) G : 0.041(0.000)	-	0.1~0.2	D : G :
三好インター駐車場 断面： 三好町福谷(坂上)	1時間値の 寄与濃度(NOx)	D : 0.0604(0.0014) G : 0.0379(0.0032)	D : 0.123 G : 0.126	-	-
	1時間値の 環境濃度(NO2)	D : 0.047(0.000) G : 0.044(0.000)	-	0.1~0.2	D : G :
藤岡インター駐車場 断面： 藤岡町西中山	1時間値の 寄与濃度(NOx)	D : 0.0278(0.0144) G : 0.0274(0.0270)	D : 0.056 G : 0.055	-	-
	1時間値の 環境濃度(NO2)	D : 0.032(0.003) G : 0.032(0.005)	-	0.1~0.2	D : G :

* 1 : 「D」は大気安定度D、「G」は大気安定度Gの条件でそれぞれ予測を行ったものである。

* 2 : 予測値の()内の数値は、車両による寄与濃度のうち、一般車両分を除いた駐車場利用車両の走行による寄与濃度を示す。

< 浮遊粒子状物質 >

駐車場利用車両の走行による予測結果は以下のとおりであり、ほとんどの駐車場断面で1時間値が環境基準値を上回っている。これは、本事業による寄与は低いと予測されるものの、バックグラウンド濃度が環境基準値と同程度か又は既に超えているためである。

(単位：mg/m³)

駐車場	項目	予測値	バックグラウンド濃度	環境基準値 又は指針値	環境基準等の適合 (:適合、×:不適合)
尾張旭駐車場 断面： 尾張旭市稲葉町	1時間値の 寄与濃度	D : 0.0258(0.0016) G : 0.0197(0.0040)	D : 0.266 G : 0.150	-	-
	1時間値の 環境濃度	D : 0.292(0.002) G : 0.170(0.004)	-	0.2	D : × G :
尾張旭駐車場 断面： 尾張旭市稲葉町	1時間値の 寄与濃度	D : 0.0232(0.0033) G : 0.0237(0.0081)	D : 0.266 G : 0.150	-	-
	1時間値の 環境濃度	D : 0.289(0.003) G : 0.174(0.008)	-	0.2	D : × G :
長久手インター駐車場 断面： 長久手町長湫 (横道)	1時間値の 寄与濃度	D : 0.0234(0.0023) G : 0.0314(0.0052)	D : 0.199 G : 0.235	-	-
	1時間値の 環境濃度	D : 0.222(0.002) G : 0.266(0.005)	-	0.2	D : × G : ×
長久手インター駐車場 断面： 長久手町岩作 (早稲田)	1時間値の 寄与濃度	D : 0.0250(0.0021) G : 0.0215(0.0032)	D : 0.199 G : 0.235	-	-
	1時間値の 環境濃度	D : 0.224(0.002) G : 0.257(0.003)	-	0.2	D : × G : ×
ながくて南駐車場 断面： 日進市岩崎町 竹の山	1時間値の 寄与濃度	D : 0.0188(0.0147) G : 0.0353(0.0337)	D : 0.200 G : 0.160	-	-
	1時間値の 環境濃度	D : 0.219(0.015) G : 0.195(0.034)	-	0.2	D : × G :
三好インター駐車場 断面： 三好町福谷(根浦)	1時間値の 寄与濃度	D : 0.0143(0.0006) G : 0.0155(0.0021)	D : 0.206 G : 0.162	-	-
	1時間値の 環境濃度	D : 0.220(0.001) G : 0.177(0.002)	-	0.2	D : × G :
三好インター駐車場 断面： 三好町福谷(坂上)	1時間値の 寄与濃度	D : 0.0425(0.0008) G : 0.0264(0.0018)	D : 0.206 G : 0.162	-	-
	1時間値の 環境濃度	D : 0.249(0.001) G : 0.188(0.002)	-	0.2	D : × G :
藤岡インター駐車場 断面： 藤岡町西中山	1時間値の 寄与濃度	D : 0.0182(0.0083) G : 0.0158(0.0156)	D : 0.163 G : 0.125	-	-
	1時間値の 環境濃度	D : 0.181(0.008) G : 0.141(0.016)	-	0.2	D : G :

* 1 : 「D」は大気安定度D、「G」は大気安定度Gの条件でそれぞれ予測を行ったものである。

* 2 : 予測値の()内の数値は、車両による寄与濃度のうち、一般車両分を除いた駐車場利用車両の走行による寄与濃度を示す。

2. 騒音

2.1 工事中

ア 環境影響の回避又は低減に係る評価

(ア) 工事機械の影響

回避又は低減のための方針に掲げた環境保全対策を積極的に進めることにより、環境への影響の低減が図られるものと判断した。

(イ) 工事用車両の走行

回避又は低減のための方針に掲げた環境保全対策の他に、最新規制適合車の活用を促進し、効率よく用いることによりできる限り短時間で作業を終了させることにより、環境への影響の低減が図られるものと判断した。

イ 国等の環境保全施策との整合性

(ア) 工事機械の稼働

工事機械の稼働による騒音の予測結果は、工事機械からの騒音パワーレベルの合計が最大となる時期における敷地境界での最大予測結果は以下のとおりである。ここでは、特定建設機械以外の機械も含むすべての工事機械が同時に稼働した場合を想定しており、単純比較はできないものの、この予測結果は、騒音規制法及び県民の生活環境の保全等に関する条例における特定建設作業の規制基準値を下回っている。

(単位：dB)

駐車場	予測結果	特定建設作業の規制基準値
尾張旭駐車場	75	85
長久手インター駐車場	72	
ながくて南駐車場	74	
三好インター駐車場	75	
藤岡インター駐車場	72	

(1) 工事用車両の走行

工事用車両の走行の予測評価のうち、長久手インター駐車場の工事用車両走行ルートは、会場(瀬戸会場及び長久手会場)本体工事及びターミナル等の工事に係る工事用車両の走行ルートと重なるため、これらの工事用車両の台数を重合したものをを用いた。

本事業の工事用車両及び一般車両の走行による道路交通騒音予測結果は以下のとおりであり、道路に面する地域に係る環境基準値を上回っている地点もある。これは、現状で環境基準値と同程度か又は上回っていることによるものである。

(単位: dB)

駐車場	予測地点	道路名	車線数	一般車両 (現地調査結果)	一般車両及び 本事業による 工事用車両	環境基準
尾張旭 駐車場	尾張旭市 稲葉町	県道上半田川 名古屋線	4	75	75	幹線交通を担う道路 に近接する空間: 70 dB以下
長久手インター 駐車場	長久手町長湫 (横道)	主要地方道 力石名古屋線	4	72	73	幹線交通を担う道路 に近接する空間: 70 dB以下
ながくて南 駐車場	日進市岩崎町 竹の山	市道	2	63	65	2車線以上の車線を 有する道路に面す る地域: 65dB以下
三好インター 駐車場	三好町福谷 (根浦)	都市計画道路 上伊保知立 バイパス線	2	69 (予測結果)	69	幹線交通を担う道路 に近接する空間: 70 dB以下
藤岡インター 駐車場	藤岡町西中山	町道	1	64	64	車線を有する道路 に面する地域: 65dB 以下
藤岡インター 駐車場	豊田市猿投町 神郷	県道 深見亀首線	2	72	73	幹線交通を担う道路 に近接する空間: 70 dB以下

(注) 1. 予測結果は全て昼間(6~22時)の等価騒音レベルをあらわす。

2. 数値は道路端の地上高1.2mでの予測結果である。

3. 一般車両の値は建設中である三好町福谷(根浦)を除き、平成15年に実施した調査結果である。

2.2 供用時

ア 環境影響の回避又は低減に係る評価

(ア) 駐車場内における車両の走行

今後の計画の具体化にあたっては、会期中及び1日における入場者数の平準化を誘導する方策を研究することにより、駐車場内から発生する騒音の抑制に努めることから、環境への影響の低減が図られるものと判断した。

(イ) 駐車場利用車両の走行

今後の計画の具体化にあたっては、会期中及び1日における入場者数の平準化を誘導する方策を研究することにより、道路交通騒音の抑制に努めることから、環境への影響の低減が図られるものと判断した。

イ 国等の環境保全施策との整合性

(ア) 駐車場内における車両の走行

駐車場内における車両の走行による予測結果は以下のとおりであり、大規模小売店舗を設置するものが配慮すべき事項に関する指針に示された基準値以下である。

駐車場	住居地における予測結果	
	昼間	夜間
尾張旭駐車場	55 dB 以下	45 dB 以下
長久手インター駐車場	55 dB 以下	45 dB 以下
ながくて南駐車場	55 dB 以下	45 dB 以下
三好インター駐車場	45 dB 以下	40 dB 以下
藤岡インター駐車場	55 dB 以下	45 dB 以下

(注) 1. 予測結果は昼間(6～22時)、及び夜間(22～6時)の等価騒音レベルをあらわす。
2. 数値は道路端の地上高1.2mでの予測結果である。

(1) 駐車場利用車両の走行

駐車場利用車両及び一般車両の走行による道路交通騒音予測結果は以下のとおりであり、道路に面する地域に係る環境基準値を上回っている地点もある。これは、現状で環境基準値と同程度か又は上回っていることによるものである。

(単位: dB)

駐車場	予測地点	道路名	車線数	一般車両 (現地調査結果)	一般車両及び 駐車場利用に よる車両	環境基準
尾張旭 駐車場	尾張旭市 稲葉町	県道上半田川 名古屋線	4	昼間: 75 夜間: 69	昼間: 75 夜間: 69	幹線交通を担う道路に 近接する空間 昼間: 70dB以下 夜間: 65dB以下
尾張旭 駐車場	尾張旭市 稲葉町	県道上半田川 名古屋線	4	昼間: 75 夜間: 69	昼間: 75 夜間: 69	幹線交通を担う道路に 近接する空間 昼間: 70dB以下 夜間: 65dB以下
長久手インター 駐車場	長久手町長湫 (横道)	主要地方道 力石名古屋線	4	昼間: 72 夜間: 69	昼間: 72 夜間: 70	幹線交通を担う道路に 近接する空間 昼間: 70dB以下 夜間: 65dB以下
長久手インター 駐車場	長久手町岩作 (早稲田)	主要地方道瀬 戸大府東海線	2	昼間: 73 夜間: 68	昼間: 73 夜間: 68	幹線交通を担う道路に 近接する空間 昼間: 70dB以下 夜間: 65dB以下
ながくて南 駐車場	日進市岩崎町 竹の山	市道	2	昼間: 63 夜間: 55	昼間: 68 夜間: 60	2車線以上の車線を有 する道路に面する地域 昼間: 65dB以下 夜間: 60dB以下
三好インター 駐車場	三好町福谷 (根浦)	都市計画道路 上伊保知立 バイパス線	2	昼間: 69 夜間: 63 (予測結果)	昼間: 69 夜間: 64	幹線交通を担う道路に 近接する空間 昼間: 70dB以下 夜間: 65dB以下
三好インター 駐車場	三好町福谷 (坂上)	主要地方道 豊田知立線	2	昼間: 73 夜間: 68	昼間: 73 夜間: 68	幹線交通を担う道路に 近接する空間 昼間: 70dB以下 夜間: 65dB以下
藤岡インター 駐車場	藤岡町西中山	町道	1	昼間: 60 夜間: 43	昼間: 66 夜間: 58	車線を有する道路に面 する地域 昼間: 65dB以下 夜間: 60dB以下

(注) 1. 予測結果は昼間(6～22時)、及び夜間(22～6時)の等価騒音レベルをあらわす。

2. 数値は道路端の地上高1.2mでの予測結果である。

3. 一般車両の値は建設中である三好町福谷(根浦)を除き、平成15年に実施した調査結果である。

3. 振動

3.1 工事中

ア 環境影響の回避又は低減に係る評価

(ア) 工事機械の影響

回避又は低減のための方針に掲げた環境保全対策を積極的に進めることにより、環境への影響の低減が図られるものと判断した。

(イ) 工事用車両の走行

回避又は低減のための方針に掲げた環境保全対策を積極的に進めることにより、環境への影響の低減が図られるものと判断した。

イ 国等の環境保全施策との整合性

(ア) 工事機械の稼働

工事機械の稼働による振動の予測結果は、工事機械からの振動レベルの合計が最大となる時期における敷地境界での最大予測結果は以下のとおりである。ここでは、特定建設機械以外の機械も含むすべての工事機械が同時に稼働した場合を想定しており、単純比較はできないものの、この予測結果は、振動規制法及び県民の生活環境の保全等に関する条例における特定建設作業の規制基準値を下回っている。

(単位：dB)

駐車場	予測結果	特定建設作業の規制基準値
尾張旭駐車場	60	75
長久手インター駐車場	63	
ながくて南駐車場	62	
三好インター駐車場	61	
藤岡インター駐車場	58	

(1) 工事用車両の走行

工事用車両の走行の予測評価のうち、長久手インター駐車場の工事用車両走行ルートは、会場(瀬戸会場及び長久手会場)本体工事及びターミナル等の工事に係る工事用車両の走行ルートと重なるため、これらの工事用車両の台数を重合したものをを用いた。

本事業の工事用車両及び一般車両の走行による道路交通振動予測結果は以下のとおりであり、振動規制法の道路交通振動に係る要請限度値を下回っている。

(単位: dB)

駐車場	予測地点	道路名	車線数	一般車両 (現地調査結果)	一般車両及び 本事業による 工事用車両	道路交通振動の 要請限度
尾張旭 駐車場	尾張旭市 稲葉町	県道上半田川 名古屋線	4	41	41	第2種区域 昼間 70dB 以下
長久手インター 駐車場	長久手町長湫 (横道)	主要地方道 力石名古屋線	4	51	53	第2種区域 昼間 70dB 以下
ながくて南 駐車場	日進市岩崎町 竹の山	市道	2	36	40	第1種区域 昼間 65dB 以下
三好インター 駐車場	三好町福谷 (根浦)	都市計画道路 上伊保知立 バイパス線	2	49 (予測結果)	49	第1種区域 昼間 65dB 以下
藤岡インター 駐車場	藤岡町西中山	町道	1	34	34	第2種区域 昼間 70dB 以下
藤岡インター 駐車場	豊田市猿投町 神郷	県道 深見亀首線	2	34	35	第2種区域 昼間 70dB 以下

(注) 一般車両の値は建設中である三好町福谷(根浦)を除き、平成15年に実施した調査結果である。

3.2 供用時

ア 環境影響の回避又は低減に係る評価

(ア) 駐車場内における車両の走行

今後の計画の具体化にあたっては、会期中及び1日における入場者数の平準化を誘導する方策を研究することにより、駐車場内から発生する振動の抑制に努めることから、環境への影響の低減が図られるものと判断した。

(イ) 駐車場利用車両の走行

今後の計画の具体化にあたっては、会期中及び1日における入場者数の平準化を誘導する方策を研究することにより、道路交通振動の抑制に努めることから、環境への影響の低減が図られるものと判断した。

イ 国等の環境保全施策との整合性

(ア) 駐車場利用車両の走行

駐車場利用車両及び一般車両の走行による道路交通振動予測結果は以下のとおりであり、振動規制法の道路交通振動に係る要請限度値を下回っている。

(単位: dB)

駐車場	予測地点	道路名	車線数	一般車両 (現地調査結果)	一般車両及び 駐車場利用に よる車両	道路交通振動の 要請限度
尾張旭 駐車場	尾張旭市 稲葉町	県道上半田川 名古屋線	4	昼間: 40 夜間: 33	昼間: 40 夜間: 34	第2種区域 昼間: 70dB 以下 夜間: 65dB 以下
尾張旭 駐車場	尾張旭市 稲葉町	県道上半田川 名古屋線	4	昼間: 41 夜間: 33	昼間: 42 夜間: 35	第2種区域 昼間: 70dB 以下 夜間: 65dB 以下
長久手インター 駐車場	長久手町長湫 (横道)	主要地方道 力石名古屋線	4	昼間: 49 夜間: 43	昼間: 49 夜間: 44	第2種区域 昼間: 70dB 以下 夜間: 65dB 以下
長久手インター 駐車場	長久手町岩作 (早稲田)	主要地方道瀬 戸大府東海線	2	昼間: 36 夜間: 32	昼間: 36 夜間: 33	第1種区域 昼間: 65dB 以下 夜間: 60dB 以下
ながくて南 駐車場	日進市岩崎町 竹の山	市道	2	昼間: 34 夜間: 30	昼間: 41 夜間: 50	第1種区域 昼間: 65dB 以下 夜間: 60dB 以下
三好インター 駐車場	三好町福谷 (根浦)	都市計画道路 上伊保知立バ イパス線	2	昼間: 48 夜間: 41 (予測結果)	昼間: 49 夜間: 42	第1種区域 昼間: 65dB 以下 夜間: 60dB 以下
三好インター 駐車場	三好町福谷 (坂上)	主要地方道 豊田知立線	2	昼間: 45 夜間: 39	昼間: 45 夜間: 39	第2種区域 昼間: 70dB 以下 夜間: 65dB 以下
藤岡インター 駐車場	藤岡町西中山	町道	1	昼間: 37 夜間: 30	昼間: 42 夜間: 40	第2種区域 昼間: 70dB 以下 夜間: 65dB 以下

(注) 一般車両の値は建設中である三好町福谷(根浦)を除き、平成15年に実施した調査結果である。

4. 水質

4.1 工事中

ア 環境影響の回避又は低減に係る評価

降雨時の濁水については、一時的に高濃度となることもあるが、24時間の平均値では降雨時における濁水の管理目標値である日平均値100mg/lを下回ると予測される。さらに、工所用沈砂池等の保全対策、沈砂池の管理の徹底、降雨時における巡回監視等を徹底することにより、環境への影響は低減できるものと予測され、回避又は低減のための方針にあげた保全対策の他に、工所用沈砂池には竹そだろ過柵、砕石ろ過柵等の沈殿処理対策を含めた検討・土砂流出の危険がある箇所への土木シート養生等、実行可能なものを積極的に取り入れていくことにより、環境への影響は低減が図られるものと判断した。

4.2 供用時

ア 環境影響の回避又は低減に係る評価

浄化槽を設置する自家用車駐車場からの排水に伴う放流河川での水質（BOD）の予測結果は以下のとおりである。

回避又は低減のための方針に掲げた環境保全対策を徹底する事により、自家用車駐車場の浄化槽からの処理水排水に伴う放流河川の水質環境への影響は低減が図られるものと判断した。

駐車場	項目	観測値	予測結果
長久手インター駐車場	BOD(mg/l)	4.4	4.5
藤岡インター駐車場	BOD(mg/l)	2.1	2.3

イ 国等の環境保全施策との整合性

浄化槽からの排水のBODは、日間平均30mg/lであり、上乘せ排水基準値以下である。

なお、浄化槽の維持管理を徹底することにより、BODの許容限度値、SSの許容限度値及び日間平均値との整合を図ることとする。

5. 光害

駐車場の照明や歩道の照明からの不必要な漏洩光の抑制については、照明率の高い照明器具の使用や、照明器具の明るさの適正設定、適切な遮光フードの採用等により、上方やグレアゾーンへの漏洩光が懸念される場合には照明時間の調整や減光対策等を講ずる他、自動車のヘッドライトからの漏洩光の抑制についても必要に応じて遮光壁を設置することにより、環境への影響は低減が図られるものと判断した。

6. 植物（注目すべき植物種及び注目すべき植物群落）

6.1 存在

ア 環境影響の回避又は低減に係る評価

尾張旭駐車場、長久手インター駐車場、藤岡インター駐車場における注目すべき植物種及び注目すべき植物群落は、現地調査で確認されなかった。このことから、計画地における直接改変により影響を受ける注目すべき植物種及び群落はないものと予測された。よって、回避又は低減のための方針に掲げた環境保全対策をすることにより、立地選定の段階で注目すべき植物種及び注目すべき植物群落への影響は回避したものと判断した。

7. 動物（注目すべき動物種）

7.1 存在

ア 環境影響の回避又は低減に係る評価

注目すべき動物種について、尾張旭駐車場はダルマガエル、長久手インター駐車場はカヤネズミ及びツマグロキチョウ、藤岡インター駐車場はハッチョウトンボが現地調査で確認された。尾張旭駐車場、長久手インター駐車場の整備によって、計画地及びその周辺域に広がる当該種の生息地の一部が、一時的にはあるが改変されると予測された。

<尾張旭駐車場>

前述の保全措置によって、以下のように計画地内の生息個体に対する損傷は最小限に留められ、また工事及び供用期間中における計画地及びその周辺での当該種の生息を維持することは可能であると予測された。

- ・工事前及び工事中においては、冬眠からさめる時期に計画地内で確認されたダルマガエルの個体を一斉に捕獲するとともに、計画地周辺の生息環境へと移入することにより、駐車場整備による個体への損傷が回避又は低減される。
- ・供用期間中においては、個体移入先（水路等）も含めた計画地周辺域の生息環境の改善を図るとともに、駐車場内の調整池に生息環境を整備することにより、ダルマガエルの生息環境の保全・創出が図られる。

また、計画地は現在、農業基盤整備のための造成が施された水田を主とする農地であり、会期終了後に農地の復元を図ることにより、供用後は再びダルマガエルの生息地としての環境が回復する可能性があるとして予測された。このことにより、計画地及びその周辺でのダルマガエルの生息を維持することは可能であると判断した。

<長久手インター駐車場>

前述の保全措置によって、以下のように計画地内の生息個体に対する損傷は最小限に留められ、また工事及び供用期間中における計画地及びその周辺での当該種の生息を維持することは可能であると予測された。

カヤネズミ

- ・春の営巣前に計画地の草本類を刈り取り、周辺域に営巣場所を誘導することにより、工事による新規繁殖個体の直接的損傷を回避又は低減される。
- ・駐車場計画地内（残置林の隣接地）の一部に「カヤ場」として草地を創出・維持するとともに、移動路として駐車場内の盛り土部の法面に草地を創出・維持することにより、カヤネズミの生息環境の保全・創出が図られる。

ツマグロキチョウ

- ・越冬は周辺部の林内で行うものと想定されることから、春の産卵前に計画地の草本類を刈り取り周辺域に産卵場所を誘導することにより、工事による卵（繁殖個体）の損傷が回避又は低減される。
- ・駐車場内の盛り土部の法面及び調整池の法面にカワラケツメイを播種し、駐車場内でのツマグロキチョウの産卵を促すことにより、ツマグロキチョウの生息環境の保全・創出が図られる。

また、計画地は現在、土地改良中の造成地が主体であり、一部に水田やその放棄地が含まれる。これら農地及び放棄地については、会期終了後に農地の復元を図ることにより、供用後は再びカヤネズミの生息地及びツマグロキチョウの幼虫の食草であるカワラケツメイの生育地としての環境が回復する可能性があるとして予測された。このことにより、計画地及びその周辺でのカヤネズミ及びツマグロキチョウの生息を維持することは可能であると判断した。

< 藤岡インター駐車場 >

ハッチョウトンボの生息地である小規模な湿地に対する直接改変を行わないことから、計画地内の生息個体に対する損傷及び生息地に対する直接的影響の回避又は低減が可能であると予測された。供用期間中には湿地へのフェンス及び排水路の設置や、湿地及びその周辺の草地の整備により、湿地及びその周辺の環境変化に対する影響も低減できるものと判断した。また、会期終了後に農地の復元を図ることにより、供用後における湿地周辺の環境回復も可能であると判断した。このことにより、計画地におけるハッチョウトンボの生息環境を維持することは可能であると判断した。

しかし、尾張旭駐車場、長久手インター駐車場、藤岡インター駐車場における注目すべき動物種に対する環境保全措置の効果に対しては、予測の不確実性を伴うことから、モニタリング調査を実施することとした。

8 . 景観

8.1 存在

ア 環境影響の回避又は低減に係る評価

尾張旭駐車場及び長久手インター駐車場においては、立地選定段階で注目すべき景観資源の直接改変や注目すべき眺望景観への眺望阻害については概ね回避されているが、さらに尾張旭駐車場では計画地内の既存高木の残置、調整池内の草地化により、長久手インター駐車場では調整池内の草地化、灌木植栽帯の設置によりさらに低減されているものと判断した。また、会期終了後に農地の復元を図ること、駐車場整備に伴う景観変化も一時的なものとなることから、景観への影響は事前に回避又は低減されているものと判断した。

しかし、当該駐車場周辺には、比較的近傍に集落地や道路等の身近な視点が存在しており、一時的とはいえ現況における農地景観が人工的景観に変化することから、地域住民や関係自治体の協力を得た上で、集落地近傍や沿道等の進入防止柵に花卉等を植栽したプランターを設置（懸架）することや駐車場内の要所に花卉等を植栽したプランターを設置するなどして、連続的に視認される駐車場を視覚的に分断し、視認量を少なくすることにより、視覚的变化の影響を軽減するよう検討していくこととする。

9 . 廃棄物等

自家用車駐車場の整備に伴い、現状において生育している草本類の刈り取りが必要となる。回避又は低減のための方針に掲げた環境保全対策をすることにより、環境への影響は低減が図られるものと判断した。